

## 有機溶剤中毒を防止するために！

昨年、全船安加盟事業所で4件の有機溶剤中毒による重大災害で4名の方が亡くなりました。昭和59年から数えますと、実に25名の尊い命が失われていることとなります。

有機溶剤中毒による災害を防止するには、なんとと言ってもガスを滞留させないことが最も大事なことです。そのためには、必ず有効な換気を行って下さい。

それから、もう一つこれらの災害原因で共通していることがあります。それは亡くなられた被災者のほとんどが「**防毒マスクを着用していた**」ということです。防毒マスクを着用していて、「なぜ！！」と思われるでしょうが、**使っていたマスクが直結小型式防毒マスク(通称ブタマスク)**だったということです。ここに大きな落とし穴があります。

塗装関係者は次の点をご注意ください！

1. **直結小型式防毒マスクを使用される場合は 1000ppm以下の作業環境でしか使用できません。**屋内、タンク内での塗装作業では換気の問題はありますが、通常1500～3500ppmのガス濃度であることが確認されています。したがって、これらの環境では中濃度か高濃度の吸収缶、または送気マスクを使用することになります。
2. しかし、中濃度や高濃度、送気マスクは使い勝手が悪いため、ついついブタマスクを使っているのが実態と思われます。(ブタマスクを使用する場合は吸収缶を頻繁に交換する必要があります。)
3. 現在、全船安では保護具メーカーと共同で直結小型の中濃度吸収缶を開発中です。
4. 有機溶剤中毒を防止するため中濃度か高濃度の吸収缶、または送気マスクを使用するようにしてください。1000ppm以下の環境で**ブタマスクを使用する場合でも吸収缶の交換を頻繁に(例えば、匂いを感じたらすぐに)、かつ、必ず屋外で実施してください。**

